



多重極限物質科学研究センター 研究発表会

第3回

極限条件下の研究から広がる物質科学

物性研究を基軸とする教育・研究を行い、社会に貢献することが物質理学研究科の目的です。これを達成するために、本研究センターは“一桁上の多重極限条件”を掲げています。一桁上の極限条件下実験手法を確立し、新奇物性現象の発現と解明を目指す卓越した研究・教育の場を実現し、高いレベルの理学の教育と研究を実践することを目標としています。今回の研究発表会では、学外から時間分解軟X線光電子分光分野で活躍されている若手研究者をお招きし、最新の研究成果を発表していただきます。さらに、センター所属の博士前期課程2年生が修士論文の進捗状況を報告し、センター全教員による分野を超えた研究指導を行います。

会場 理学部 研究棟 739号室

日時 2014年12月25日(木) 10:00~16:40

プログラム

10:00	開会の辞 小林寿夫 多重極限物質科学研究センター長
10:05	山本達先生 東京大学/物性研究所 招待講演 時間分解軟X線光電子分光法による表面キャリアダイナミクスの研究
光物性学分野	
10:45	岸本良 半導体微小光共振器の偏光変調分光
11:05	休憩 11:05~11:15
X線光学分野	
11:15	角田和浩 X線多層膜ゾーンプレートの高空間分解能化 福田修平 放射光X線によるNaフラックス法GaN単結晶基板の結晶性評価 松村篤恭 全反射ゾーンプレートの直交直列配置による二次元集光特性評価
12:15	写真撮影・昼休憩 12:15~13:15
量子物性学分野	
13:15	安田明子 $Ce(Ru_{1-x}Fe_x)_2Al_{10}$ の ^{57}Fe メスbauer分光法による磁性研究 永澤延元 ^{57}Fe メスbauer分光法によるM型Srフェライトにおける元素置換効果の研究 岡前裕基 $EuTIn_4$ ($T = Ni, Pd, Pt$)における高圧力下の磁気異方性研究 井上遼一 $EuGe_2$ の純良単結晶育成と圧力下の磁性
14:35	休憩 14:35~14:45
極限状態物性学分野	
14:45	水木悠斗 固体水素III相の構造と物性研究 石原大輔 酸素-窒素二元系の高圧低温構造相転移の研究 山下寛倫 酸素-窒素二元系の高圧低温磁気相転移の研究
15:45	休憩 15:45~15:55
電子物性学分野	
15:55	川勝大地 空間反転対称性のない超伝導体の自発磁化の研究 藤沢拓実 極低温磁化測定技術の開発と高精度磁気測定
16:35	閉会の辞 本間健二 物質理学研究科長



多重極限物質科学研究センター
Center for Novel Material Science under Multi-Extreme Conditions
<http://www.sci.u-hyogo.ac.jp/material/Centers/MEX/index.html>